

## 2023年度 小委員会活動成果報告

(2024年2月9日作成)

小委員会名	地場の造形小委員会	主 査 名：大沼正寛 就任年月：2022年4月
所属本委員会 (所属運営委員会)	農村計画委員会	委員長名：神吉紀世子
設 置 期 間	2022年4月 ～ 2026年3月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>次世代の地域において「地域をつくる」手がかりとなる「地場の造形」について、事例別の深掘り比較研究を行い、新たな建築設計・生産論の導出をめざす。</p> <p>初年度：多様な視点を得るための大会パネルディスカッションの企画・実施                  2年度：PDで得られた視点を深掘りするオーガナイズド・セッションの実施                  3年度：基礎概念整理にもとづく委員・地域ごとの深掘り研究と情報共有                  4年度：研究協議会や公開研究会等にて発信しネクストフェーズを検討する</p>	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：有	
	主査：大沼正寛(東北工業大学) 幹事：下田元毅(大手前大学) 委員：阿部正(ノーマルデザイン・アソシエイツ)、池ノ上真一(北海商科大学)、稲地秀介(摂南大学)、魚谷繁礼(魚谷繁礼建築設計事務所)、梶浦暁(梶浦暁建築設計事務所)、栗原広佑(東北工業大学)、菅原香織(秋田公立美術大学)、津村泰範(長岡造形大学)、戸田都生男(ものづくり大学)、渡辺菊真(高知工科大学)	
設置WG (WG名：目的)		
2023年度予算	130,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： <a href="http://news-sv.ajj.or.jp/nouson/s0/">http://news-sv.ajj.or.jp/nouson/s0/</a>

項 目	自 己 評 価
委員会開催数	4回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 当初計画どおりオーガナイズド・セッション(OS)を実施することができた(全12編)。前年度のPDで得られた視点の深掘り討議を行うことで、各地・各分野の実例を統合的に捉える視点を得た。PD+OSで得た視点をもとに、過去の技術報告集のレビューを行うなど共同作業トピックを見出すこともできた。
委員会活動の問題点・課題	1. 地場の造形にかかる事例情報の掘り起こしを共同作業で進めるが、能登半島地震もふまえ、その後の知見の発信方法について具体的に検討する必要がある。 2. 農山漁村各地におけるフィールド立脚型研究の連絡共有をどうするか、設計競技系統の催事の可能性をどう具体化するかを検討する必要がある。